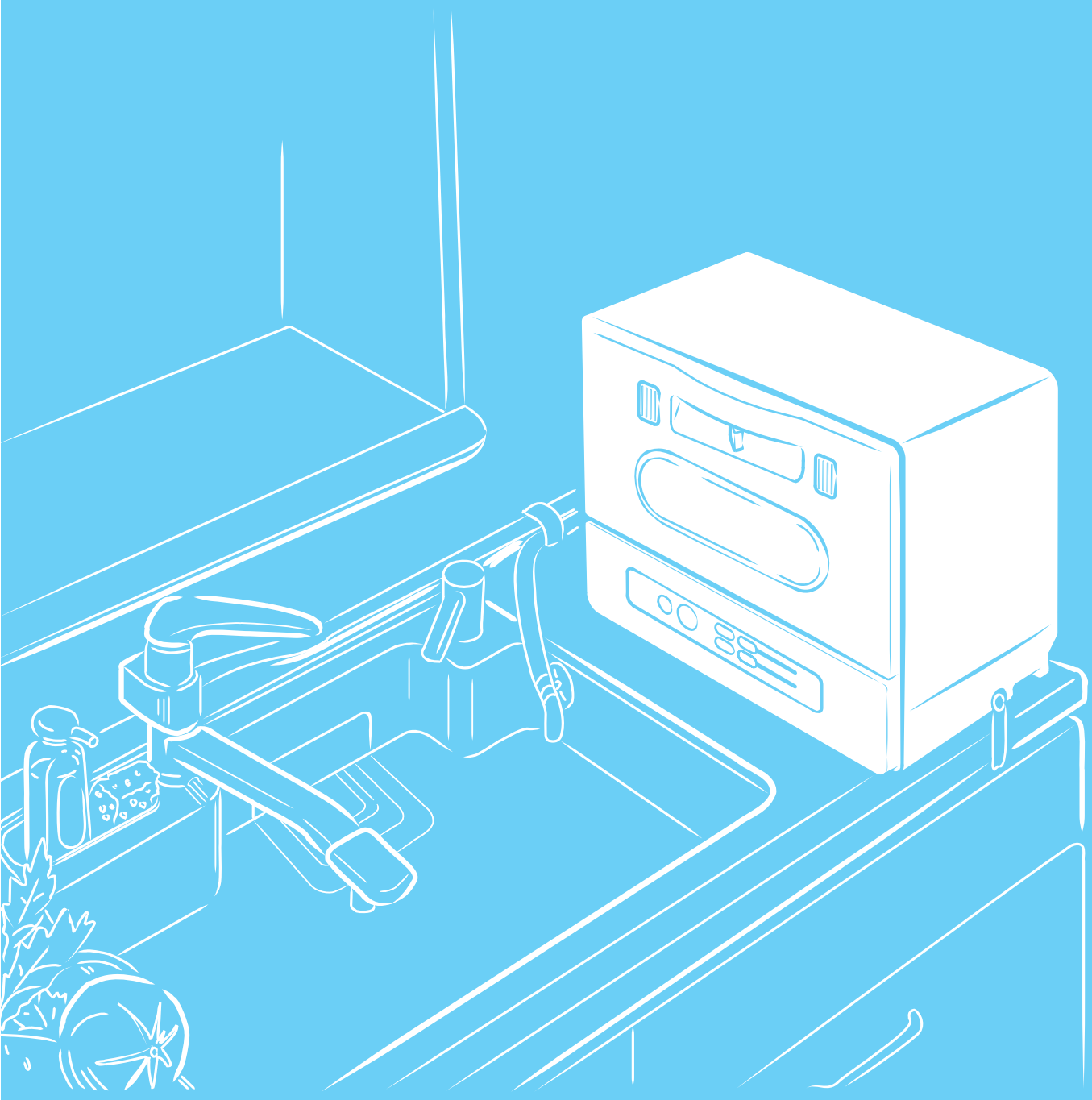
ウォッシュアップ エコ（コンパクトスリム）

卓上型食器洗い乾燥機

EUD210

TOTO

取扱説明書



■ このたびは「TOTOウォッシュアップ エコ（コンパクトスリム）」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ 取扱説明書・施工説明書は大切に保存し、いつでも再読できるようにしておいてください。

ご使用前に
食器のセット
つかいかた
お手入れなど
故障かな？と思ったら
アフターサービス

お客様へ

このたびは「TOTO ウォッシュアップ エコ（コンパクトスリム）」をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございました。
この商品では、『エコロジー』&『エコノミー』にこだわったいろいろな機能を提供させていただきます。
また、毎日使っていただくものですので、特に『使いやすさ』『清潔』にもこだわりました。
ぜひ、お客様のキッチンお片づけのパートナーとして、末永くご愛用くださいますよう、よろしくお願いします。
これからもTOTO商品をご愛顧のほどよろしくお願いします。

TOTO

特徴1 かる～くゆすげば洗剤いらず！「洗剤なし」コースが選べます

P.15

食器洗い乾燥機をお使いの約9割※の方が食器をつけ置きしたり、予洗いをしてから洗っていますので、とてもうれしい便利なコースです。 ※TOTO調べ

特徴2 好評！スピーディ「8分」コース！

P.15

手洗いよりも経済的！　給湯接続でさらにおトク。

特徴3 パワフル狙いうち洗浄！

P.11

直撃率※100%！　17個の直撃ノズルで洗い上げます。

※セットされた食器に対して、ノズルから噴射された洗浄水が直接あたる食器の割合

特徴4 衛生的！

P.15

約80℃の最終すすぎが選べて、とっても衛生的です。
かごはステンレス製です。

もくじ

ご使用前に

安全のために必ずお守りください …… 4
初めてお使いになる前に ーお守りくださいー …… 7
洗い・乾燥してはいけないもの …… 7
こんな汚れは落ちません …… 7
各部のなまえ …… 8
操作パネルのなまえとはたらき …… 9

さあ使いはじめましょう …… 10

食器のセット

食器を入れる ー食器を入れる前にー …… 11
食器を入れる ー標準的な食器の入れかたー …… 12
いろいろな食器の入れかた …… 13

つかいかた

運転する …… 15
・ 洗浄コースについて …… 15
・ 専用洗剤を入れ、ドアを閉める …… 16
・ コースを選びスタートする …… 17
・ 運転を開始したあとで …… 19
後かたづけ …… 20
運転時間とコスト …… 21

お手入れなど

お手入れ ー月に1度はお手入れをー …… 22
本体の設置 …… 23
水抜きについて …… 26

故障かな?と思ったら

仕上がりが悪いと思われる場合 …… 27
運転しないとき …… 27
異常報知について …… 28
こんなときは故障ではありません …… 29
・ 配管滞留水の排水について …… 29
・ 乾燥仕上げ剤のご使用について …… 29
凍結・断水・停電・ブレーカー作動の場合 …… 30

アフターサービス

アフターサービスについて・お願い …… 30
仕様・オプション ーお求めの販売店にて取扱っていますー …… 31

■ 給水接続でお使いになる場合は、配管滞留水の排水をなくすように設定してください。
☞P.29「配管滞留水の排水をなくすには」

安全のために必ずお守りください

絵表示について…

お使いいただくお客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
表示内容を無視して誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ **警告** この表示は、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。

⚠ **注意** この表示は、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。

絵表示の例…

分解禁止

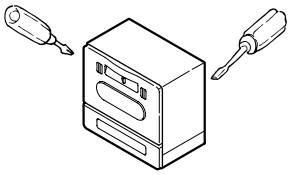
⃠記号は、絶対に行ってはいけない「禁止」の内容です。

❗記号は、指示にしたがい行っていただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造は行わないでください。

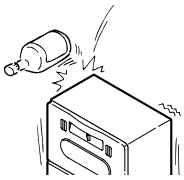
分解禁止



異常動作をしてケガをしたり、発火や感電など思わぬ事故の原因になります。

運転中は、本体に衝撃を与えないでください。

衝撃禁止



感電や漏電・ショートによる火災のおそれがあります。

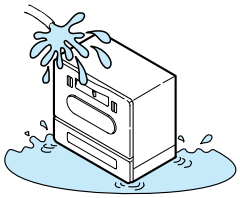
火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や揮発性の引火物を近づけないでください。

火気禁止

変形や火災のおそれがあります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。

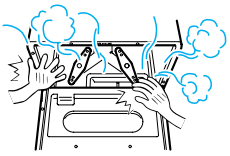
水場禁止



ショート・感電のおそれがあります。

運転中又は、運転終了後30分間は絶対に洗浄槽内面、かご、食器、残菜フィルターに触れないでください。

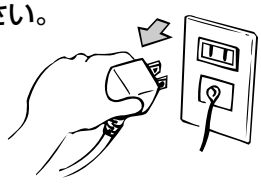
接触禁止



やけどをするおそれがあります

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

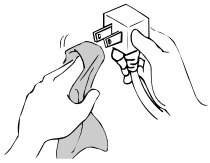
電源プラグを抜く



感電やケガをするおそれがあります。

⚠警告

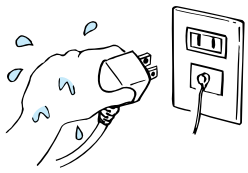
電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布などでよく拭いてください。また、定期的に清掃を行ってください。



ほこりにより絶縁不良となり、火災のおそれがあります。

電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。

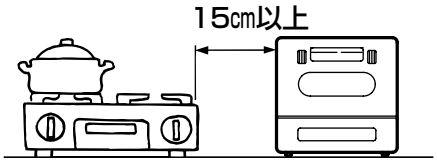
ぬれ手禁止



感電するおそれがあります。

設置場所はガスコンロなど熱源から15㎝以上離してください。

距離の確保

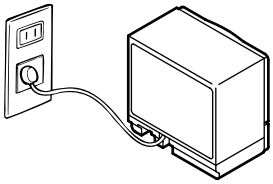


火災や変形のおそれがあります。

アースを確実に取付けてください。

※アース工事は必ず電気工事店に依頼してください。(有料)

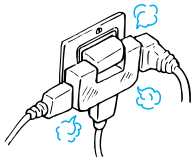
アース線接続



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使用してください。※タコ足配線は絶対にしないでください。

専用電源



他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

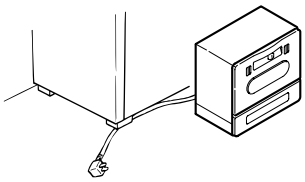
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。

禁止

電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。

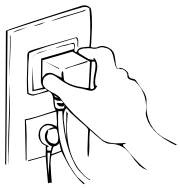
電源コードの上に重い物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。

禁止



電源コードが破損し火災・感電の原因になります。

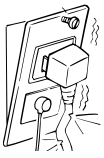
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。



感電やショートして発火するおそれがあります。

コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。

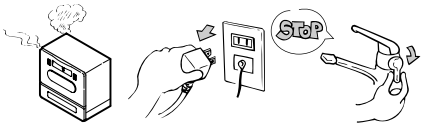
禁止



感電・ショート・発火のおそれがあります。
※電気工事店に点検修理を依頼してください。

煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜き、分岐金具の止水栓レバーを閉じてください。

電源プラグを抜く

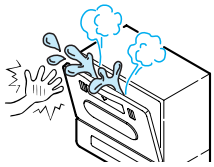


感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。

安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

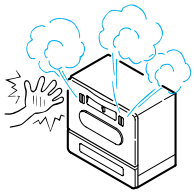
運転中にドアを開けるときは、必ず「スタート/一時停止」スイッチを押してください。



お湯が飛び出したり、高温の湯気が出てやけどをするおそれがあります。

運転中、排気口付近には近づかないでください。
また、洗浄直後ドアを開けるときには顔などを近づけないでください。

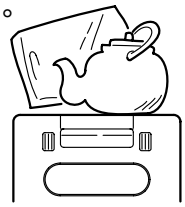
禁止



湯気、温風によりやけどをするおそれがあります。

本体の上にものを置かないようにしてください。

禁止



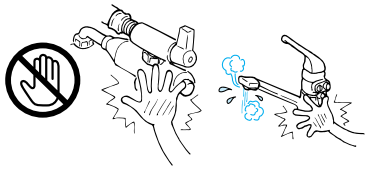
落下による思わぬケガの原因となります。

使用中、使用後、他の水栓（湯）からも高温の湯が出ることがありますので、注意してください。

禁止

給湯機が高温設定になっている場合、やけどをするおそれがあります。

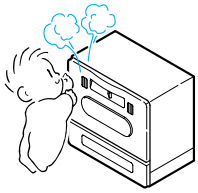
お湯を使用中、又は使用後すぐに分岐金具本体に触れないでください。



やけどをするおそれがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。

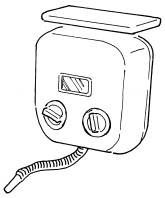
禁止



やけど・ケガをするおそれがあります。

元止め式湯沸器には接続しないでください。

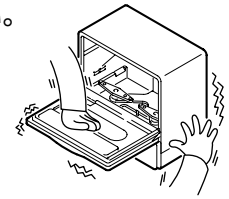
禁止



本体に給湯されなかったり、湯沸器から水漏れするおそれがあります。

開いたドアや本体を強く押さないでください。

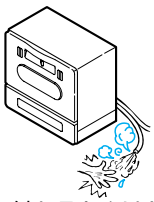
禁止



転倒、破損による思わぬケガの原因となります。

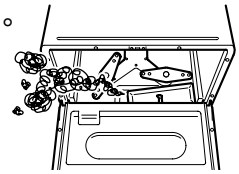
洗浄水や排水には触れないよう注意してください。

禁止



高温になっており、手を触れるとやけどをします。

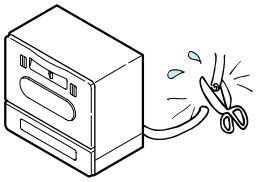
残菜フィルターは正しく取付けてください。



かごから物が落下した際に発煙、発火のおそれがあります。
故障の原因になります。

給湯ホースは切らないでください。

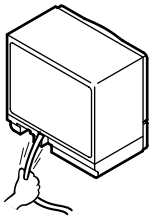
禁止



水漏れの原因になります。

排水ホースは無理に引張らないでください。

禁止



水漏れの原因になります。

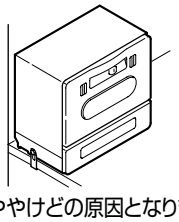
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、分岐金具の止水栓レバーを閉じてください。

電源プラグを抜く

万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。

転倒防止金具はしっかりとした平らな面に正しい方法で取付けてください。

転倒防止



転倒した際、ケガややけどの原因となります。

初めてお使いになる前に―お守りください―

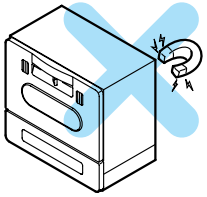
食器洗い乾燥機専用洗剤以外は使用しないでください。

一般の台所用洗剤では、異常に泡が発生して正しく運転できません。
また、故障の原因になります。

食器洗い以外の目的には使わないでください。

故障の原因になったり、衛生上良くありません。

磁石を本体に近づけないでください。



警報音が鳴り、正常に動作しないことがあります。

温度設定ができない高温給湯タイプの給湯機（70℃以上）をご使用の場合は、「高温給湯対応分岐金具」を取付けるか、給水接続でご使用ください。

本体の変形、故障の原因になります。

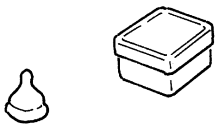
交流100V以外では使用しないでください。

故障の原因になります。

洗い・乾燥してはいけないもの

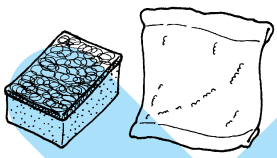
※ひび割れ、変形、変色、本体の故障などの原因になります。

プラスチック容器のふたなどの軽くて小さい食器、哺乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの



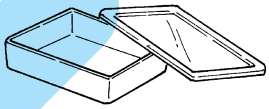
水圧で飛ばされて下へ落ちる場合があります。

ふきん、スポンジなど



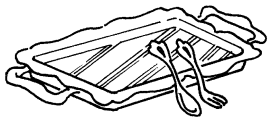
食器や調理器具以外は入れないでください。

耐熱90℃以下のプラスチック製のもの（耐熱表示のないものを含む）



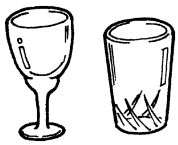
変形します。

銀製・洋銀製食器など



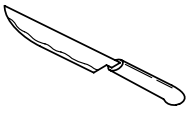
金色にかわり、そのあと黒くなります。

カットグラス、クリスタルグラス



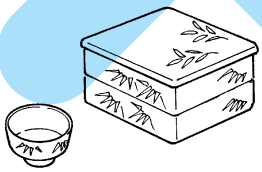
白くにごったり、割れたりします。

鉄製の包丁など



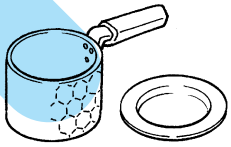
錆びるおそれがあります。

漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器



はがれるおそれがあります。

アルミ製の鍋・食器



白くなり、そのあと灰色に変色します。

びん・徳利などの食器、ひびの入った食器

■口の小さいものは中が洗えません。
■ひびが入った食器は割れるおそれがあります。

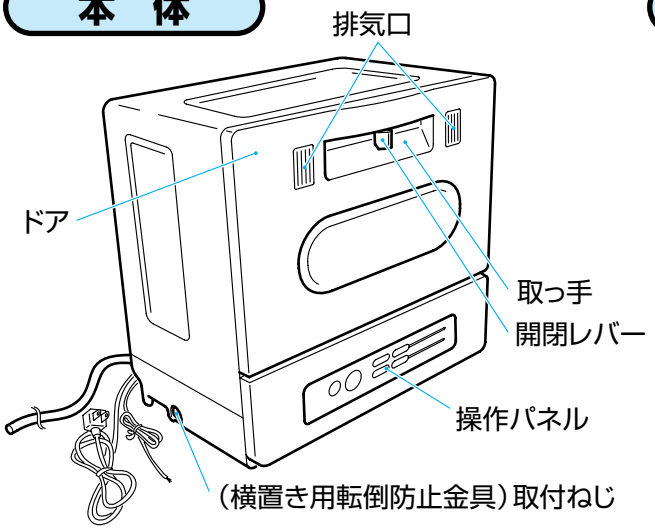
こんな汚れは落ちません

手洗いでも落としにくいこびりついた汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。
こすり落としてから入れるか、手洗いですませてください。

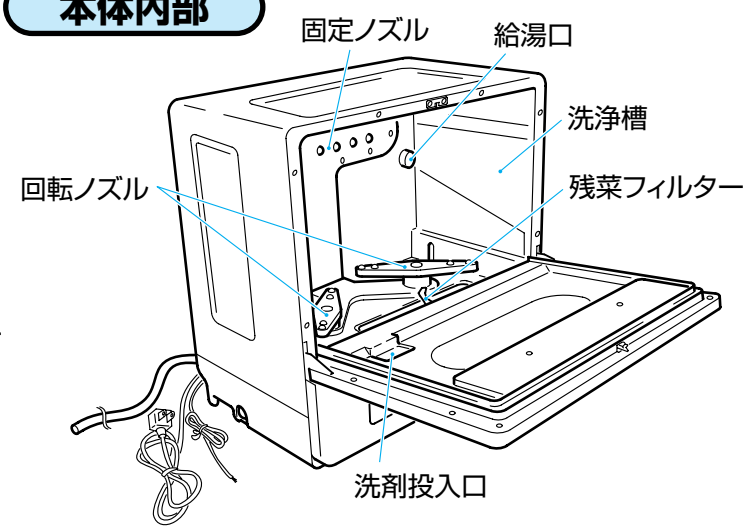
例　●グラタンの焼きつき　●茶わんむしのこびりつき　●口紅の汚れ　●ナベのこげつき

各部のなまえ

本　体

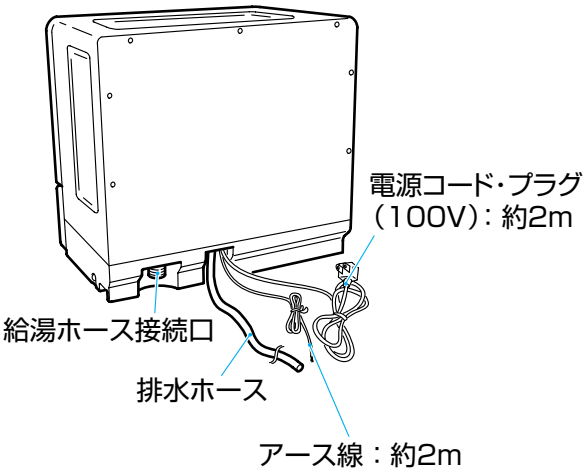


本体内部

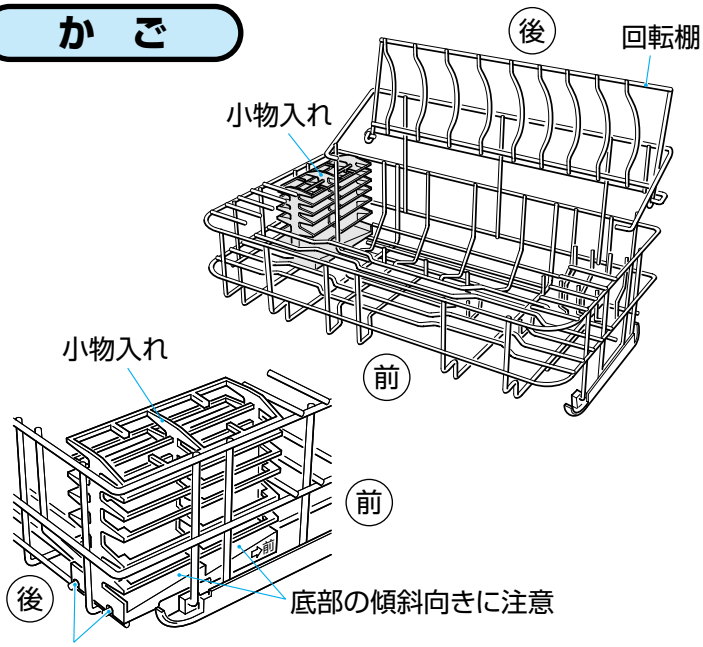


●操作パネル表面には、輸送時の傷防止用シートを張っています。
はがしてお使いください。

本体背面



かご



切り欠きをかごに合わせてはめ込みます。

付属品

- ■ 食器洗い乾燥機専用洗剤（100g）※
  計量スプーン付
- ■ ホースホルダー　1個
- ■ 吸盤　1個
- ■ ホース口金　1個
- ■ 給湯ホース　1本
- ■ 施工説明書　1部
- ■ 保証書（梱包箱に貼付されています）
  ※保証書以外の同梱品は本体の中に入っています。

転倒防止金具

横置き用	正面置き用
1）ブラケット　1個 2）ゴムシート　1枚 3）ワッシャ　1個	1）フラットバー　1個 2）ゴムあし　1個

※付属の洗剤がなくなりましたら、百貨店、スーパー、家電店、通信販売などで市販の食器洗い乾燥機専用洗剤をお求めください。

操作パネルのなまえとはたらき

スタート/一時停止スイッチ

■運転をスタート及び一時停止するときに押します。
■一時停止後、再びスタートさせるときは、もう一度押します。

電源スイッチ

■電源を入れるときに押します。
運転が終了すると自動的に切れます。
■もう一度押すと切れます。
■「スタート/一時停止」スイッチを押さずに10分放置すると切れます。

●「入」のとき、ランプ点灯
○「切」のとき、ランプ消灯

高温念入りスイッチ

■約80℃の高温で「最終すすぎ」を行うときに押します。
■もう一度押すと切れます。

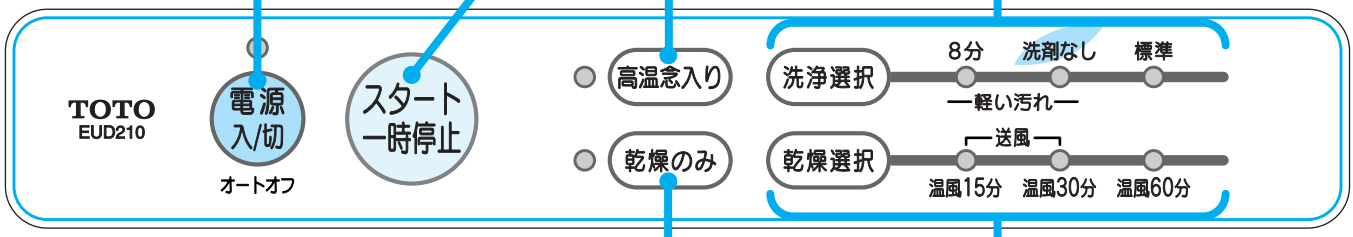
●「入」のとき、約80℃で最終すすぎ
○「切」のとき、60～70℃で最終すすぎ

洗浄コース選択スイッチ

■選びたい洗浄コースのスイッチを押します。
選んだコースのランプが点灯します。
■スイッチを押すごとに洗浄コースが変わります。

「8分」コース
↓
「洗剤なし」コース
↓
「標準」コース

■洗浄中は点滅となります。
※一時停止中は、点灯となります。
※最終すすぎ行程に入ると、点滅周期が速くなります。



乾燥のみスイッチ

■「乾燥のみ」で運転するときに押します。
■「乾燥のみ」のランプが点灯します。

乾燥コース選択スイッチ

■スイッチを押すごとに乾燥コースが変わります。
選択した乾燥コースのランプが点灯します。
■乾燥のみの場合、送風は選べません。

洗浄の場合：
「15分」温風乾燥15分
↓
「30分」温風乾燥30分
↓
「60分」温風乾燥60分
↓
「送　風」送風乾燥90分

乾燥のみの場合：「15分」温風乾燥15分、「30分」温風乾燥30分、「60分」温風乾燥60分

■送風のときは、温風15分・温風30分の両方のランプが点灯します。
■乾燥中は点滅となります。
残り3分で点滅周期が速くなります。
※一時停止中は、点灯となります。

・電源プラグを差込んだ状態では、電源が切れていても電子回路を作動させるため、約1Wの電力を消費します。
・触れるだけでスイッチの位置がわかるように、電源スイッチ、スタート/一時停止スイッチ中央部には突起が付いています。

さあ使いはじめましょう

1 運転前の準備

■乾燥のみの場合「運転前の準備」は必要ありません。

●分岐水栓の止水栓レバーを開く。

●給湯接続の場合、給湯器の電源を入れる。

給湯温度を最適の60℃に設定していただくことをおすすめします。

- 給湯温度が高いと、汚れが落ちにくくなることがあります。
- 給湯温度が低いと、洗浄時間が長くなります。
- 運転開始後「最終すすぎ」ランプが点滅したら、給湯器の電源を切ってもかまいません。

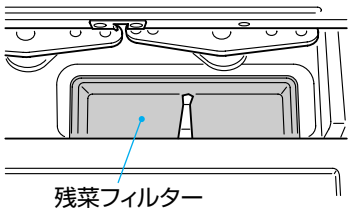
※給水接続の場合

P.29「配管滞留水の排水をなくすには」

●残菜フィルターがセットされているか確認する。

残菜フィルターを正しく取付けてください。

- 残菜が残菜フィルターの下に落ちると、故障の原因となります。



●食器の食べ残しや残菜などを取り除く。

魚の骨、つまようじ、輪ゴムなどの固形物は必ず取除いてください。

- 固形物が内部につまり、正常に動作しなくなることがあります。

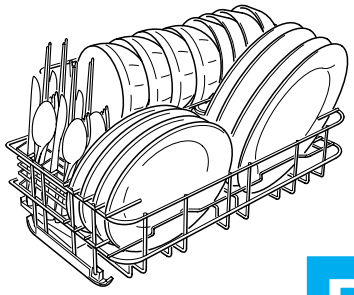
P.7「こんな汚れは落ちません」

※8分コース、洗剤なしコースをお使いになる場合

P.15「予洗いについて」

2 食器を入れる

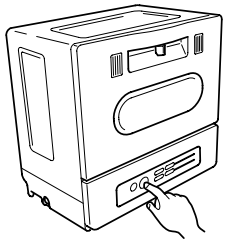
- 食器をかごにセットする。



P.11

3 運転する

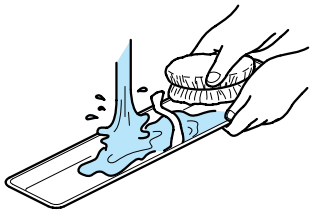
- 必要に応じて専用洗剤を洗剤投入口に入れる。
- ドアを確実に閉める。
- コースを選び、運転する。



P.15

4 後かたづけ

- 食器を取出す。
- 残菜を捨て残菜フィルターを水洗いする。
- 残菜フィルターを元どおりにセットする。
- 分岐金具の止水栓レバーを閉じる。

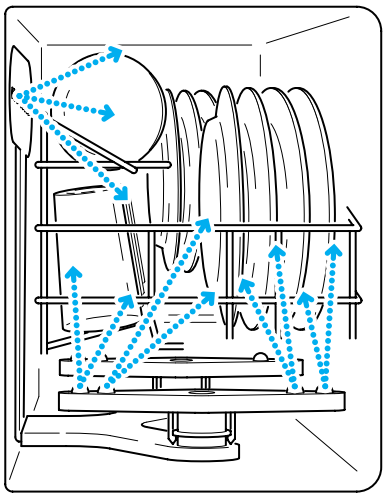


P.20

食器を入れる －食器を入れる前に－

◎ 食器の入れかたのポイント

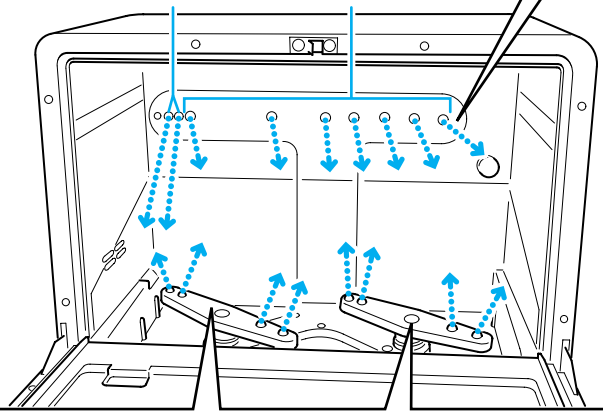
洗浄ノズルから噴射された洗浄水が食器の汚れ面に効率よくあたるように、汚れ面を洗浄ノズルの方向に向けて、正しくセットしてください。



【断面図】

固定ノズル
背面から前方向に洗浄水を噴射し、食器を洗浄します。

〈小物狙い〉 〈わん物狙い〉

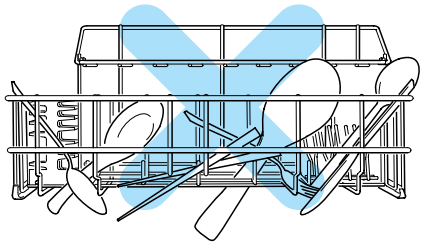


回転ノズル
回転しながら上方に向かって洗浄水を噴射し、食器を洗浄します。

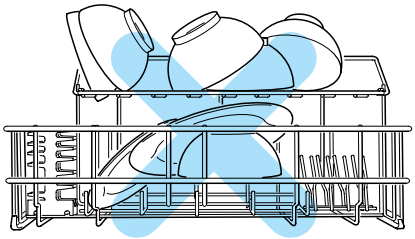
◎ 食器セットの悪い例

洗浄ノズルからの噴射水が食器に効率的に噴射されるように、食器のセットは正しく行ってください。

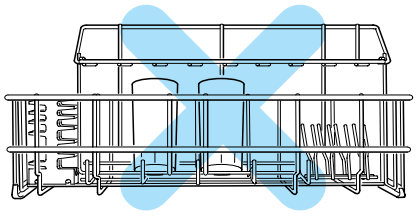
● かごの底から食器がはみ出さないように
（食器が回転ノズルにあたると洗えません）



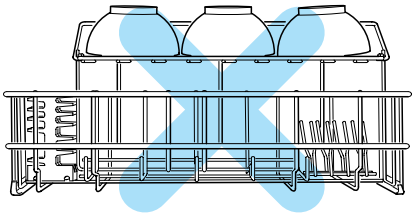
● 食器が重ならないように
（重なっている部分は洗えません）



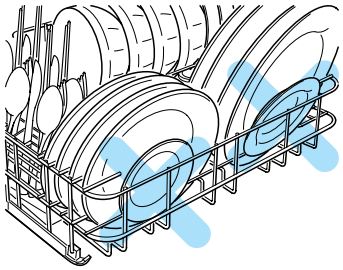
● コップ等の内面が上にならないように
（洗浄水が内面にあたりません）



● 回転棚には、おわんなどをふせて置かないように
（汚れ落ちが悪くなったり、食器が落ちることがあります）



● かごの一番手前に皿を入れないでください。
（汚れ落ちが悪くなることがあります）



食器を入れる ―標準的な食器の入れかた―

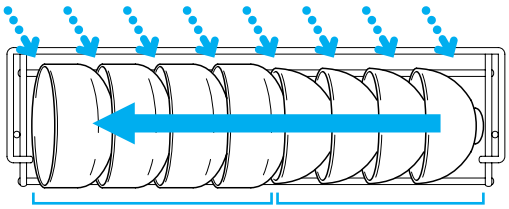
◎ 標準的な食器のセット例

■ 4人分の食器が入ります。

吸物わん	4点
茶わん	4点
コップ・湯のみ	4点
大皿	4点
中皿	4点
小皿	6点
スプーン	
ナイフ	
フォーク	
はし	

固定ノズルからの洗浄水噴射方向

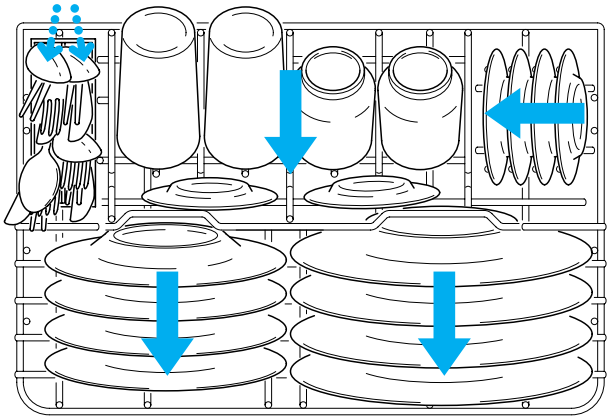
回転棚



吸物わん（底の深い食器）　茶わん（底の浅い食器）

※ 回転棚のしきり間隔は左右変えていますので、
食器の深さに合わせてセット位置を選んでください。

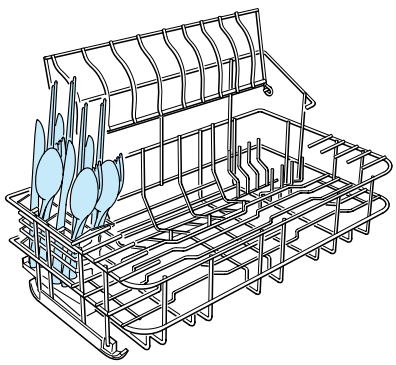
固定ノズルからの洗浄水噴射方向



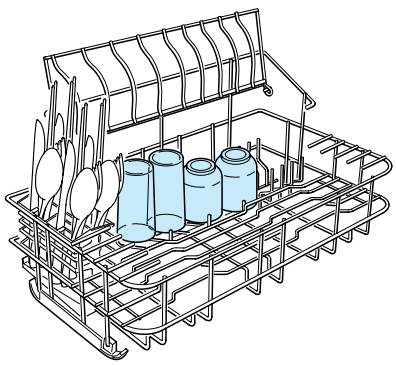
食器の内面を矢印方向➡に合わせて手前に倒し気味にセットしてください。
食器のセット向きが違うと、洗い上がりが悪くなります。

◎ 4人用食器の入れかた

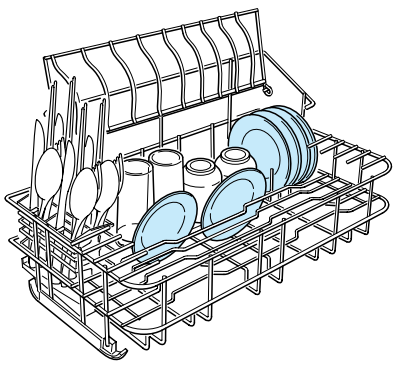
1 小物を入れる
● 汚れた方を上向きに



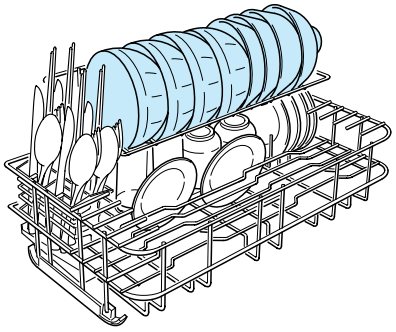
2 コップ・湯のみを入れる
● 内面を下向きに



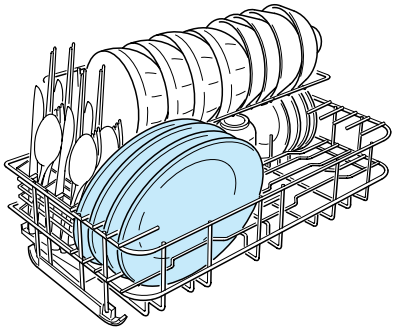
3 小皿を入れる
● 内面を左向きに



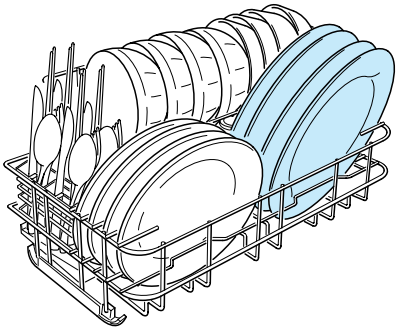
4 吸物わん・茶わんを入れる
● 内面を左向きに



5 中皿を入れる
● 内面を手前向きに



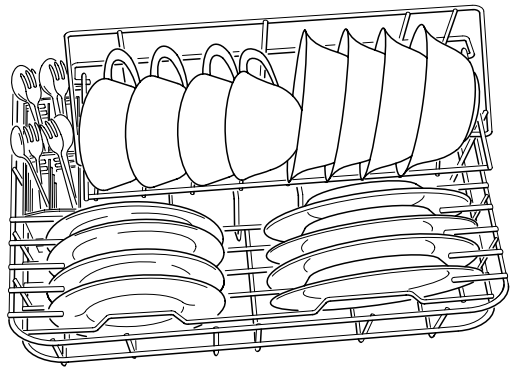
6 大皿を入れる
● 内面を手前向きに



いろいろな食器の入れかた

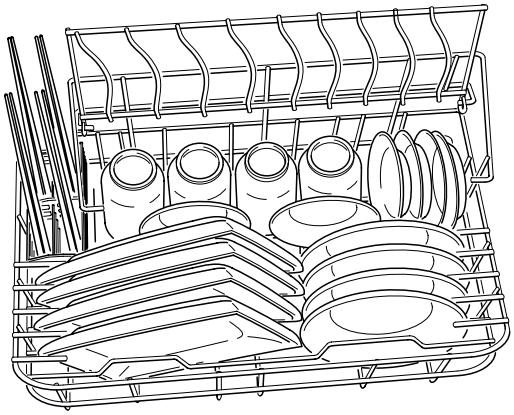
◎ いろいろな食器のセット例

ティーカップ



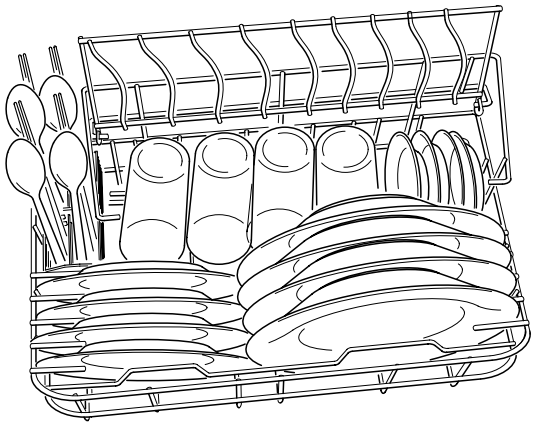
ティーカップ…4点　　洋ばち（中）…4点
ソーサー……4点　　中皿……4点

和　食　器



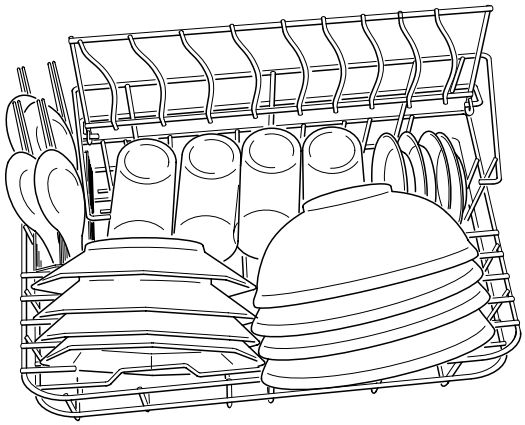
角皿……4点　　小皿……6点
刺身ばち……4点　　湯のみ……4点

カ レ ー 皿



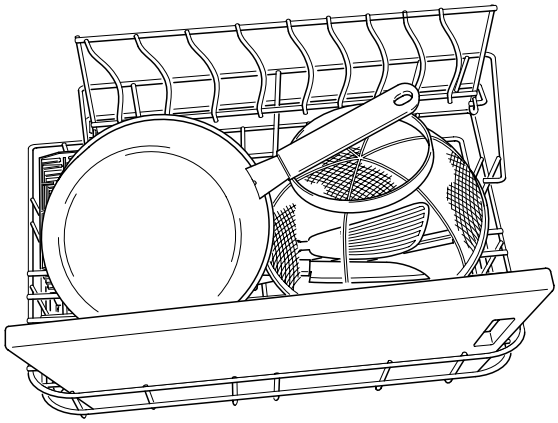
カレー皿……4点　　小皿……4点
中皿……4点　　コップ……4点

ラーメンどんぶり



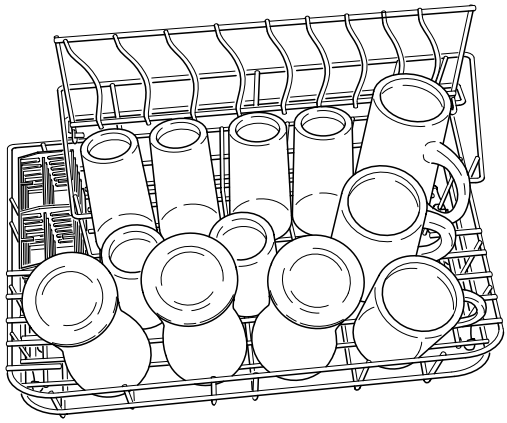
ラーメンどんぶり…4点　　小皿……4点
八角皿……4点　　コップ……4点

調理器具



フライ返し・さいばし・まな板・ざる・なべ・包丁 など

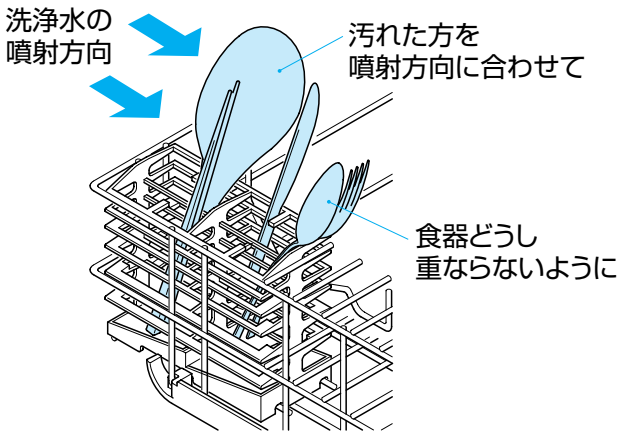
グ　ラ　ス



ビアグラス…6点
グラス……6点

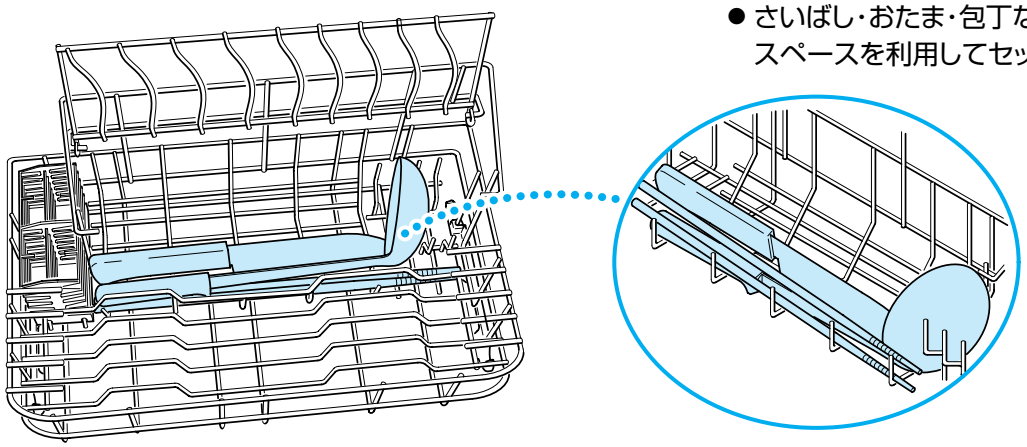
いろいろな食器の入れかた

◎ 小物入れの使いかた



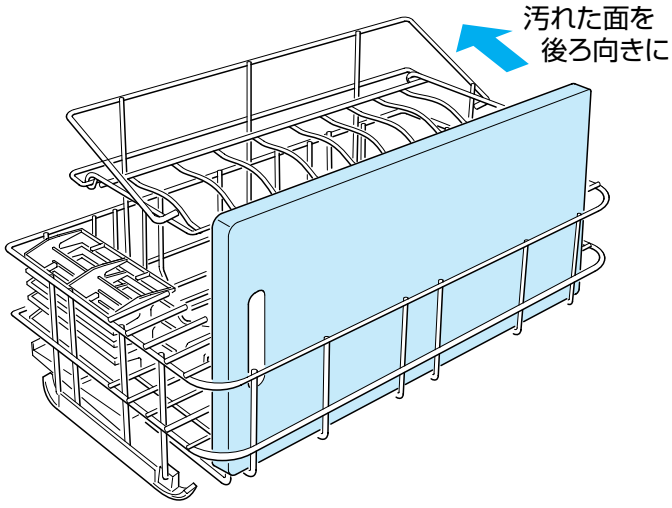
● はし・スプーン・フォーク・ナイフ・しゃもじなどをセットすることができます。

◎ さいばし・おたま・包丁などのセットのしかた



● さいばし・おたま・包丁などの長物は、左図のスペースを利用してセットしてください。

◎ まな板のセットのしかた



● かごの一番手前にセットしてください。

大きさ

たて23㎝以下、横41㎝以下、厚み1.5㎝以下

材　質

耐熱温度90℃以上のプラスチック製のもの

【お願い】鉄製の包丁や刃先が鋼のものは、錆びたり、錆びがかごにつくことがあるため入れないでください。
木製のまな板は、表面のキズに入り込んだ汚れが洗えない場合がありますので、プラスチック製のものをおすすめします。

運転する

◎ 洗浄コースについて

ウォッシュアップ エコ（コンパクトスリム）では、基本の洗浄コースを3コースご用意しています。
食器の汚れ具合や使いかたに合せて、最適な洗浄コースをお選びください。
（「高温念入り」と組合せてお使いいただけます。）

標 準 コ ー ス

高温のお湯と専用洗剤で食器を洗う、標準的な洗浄コースです。
ふつう汚れの食器を食後すぐに洗うときにお使いください。

予洗いした食器や軽い汚れの食器を洗うとき

洗剤なしコース

洗い行程を、低温湯洗いと高温湯洗いの2段階に分け、
専用洗剤を使わず食器を洗うコースです。

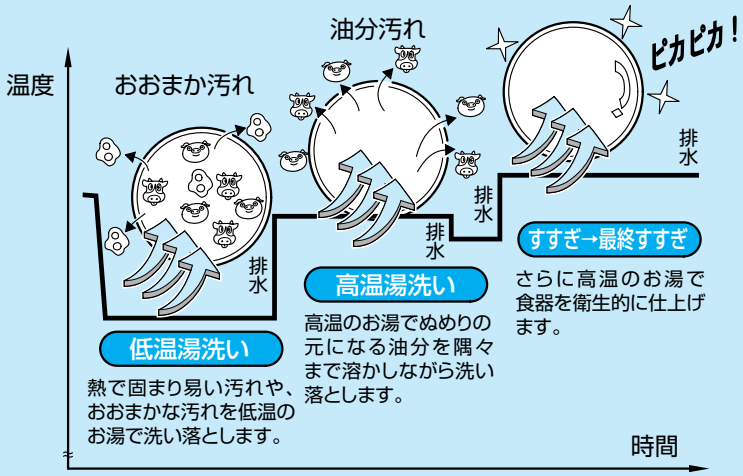
こんなときにおすすめです。

- なるべく専用洗剤を使いたくないとき。
- 食器洗いのコストを安くしたいとき。
- 専用洗剤がなくなったとき。

→ 高温念入り と組合わせると、より衛生的です。

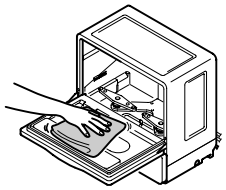
※洗浄時間は長くなります。

- 後でまとめ洗いするときに、あらかじめ汚れを軽く落としておくとき。



■こまめなお手入れを

「洗剤なしコース」を連続でお使いになる場合、専用洗剤を入れたときと比べて、洗浄槽内に水中のミネラル分などが残りやすくなります。
洗剤を使うコースとの併用や、こまめに洗浄槽内のお手入れを行なってください。

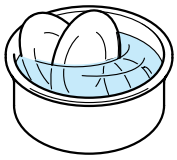


「お手入れ」☞P.22

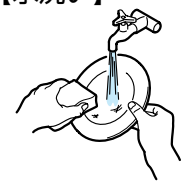
■予洗いについて

「8分コース」「洗剤なしコース」で軽い汚れ以外の食器を洗う場合は、次のような方法で必ず予洗いを行い、汚れのこびりつきなどを落としてから食器を入れてください。

【つけ置き】



【水洗い】



予洗いに台所用洗剤を使用しないでください

食器に残った台所用洗剤によって、泡が異常発生するおそれがあります。

8 分 コ ー ス

洗いから最終すすぎまでをわずか8分で行う高速洗浄コースです。

こんなときにおすすめです。

- 朝食時使用した軽い汚れ（パン食）や来客時のコップ等をすばやく洗うとき。
- つけ置き・水洗いなどの予洗いした食器を、仕上げとして洗うとき。

→ 高温念入り と組合わせると、より衛生的です。
※洗浄時間は長くなります。

- 後でまとめ洗いするとき、あらかじめ汚れを軽く落としておくとき。

※ 温水ヒーターによる加熱を行いませんので、給湯機の設定温度を60℃にしてお使いいただくことをおすすめします。
高温念入り と組合わせた場合は、温水ヒータ加熱を行います。

※ 給水接続の場合、食器の予洗いとしてお使いください。

※ 乾燥時間は温風60分をおすすめします。

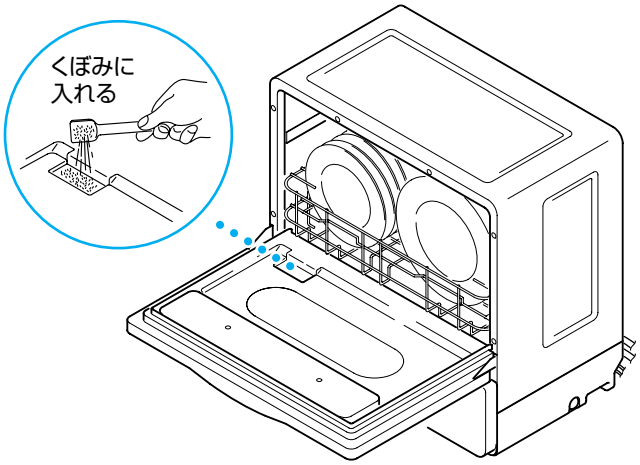
運転する（つづき）

1 専用洗剤を、洗剤投入口に入れる。

■付属の計量スプーン1杯分（約4.5g）の専用洗剤を、洗剤投入口に入れます。

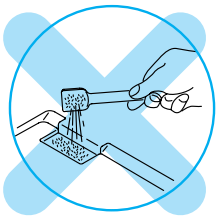
■油汚れの多い場合は、洗剤を多めに入れてください。

「油汚れ多い」



洗剤なし　乾燥のみ

の場合は洗剤を入れる必要はありません。



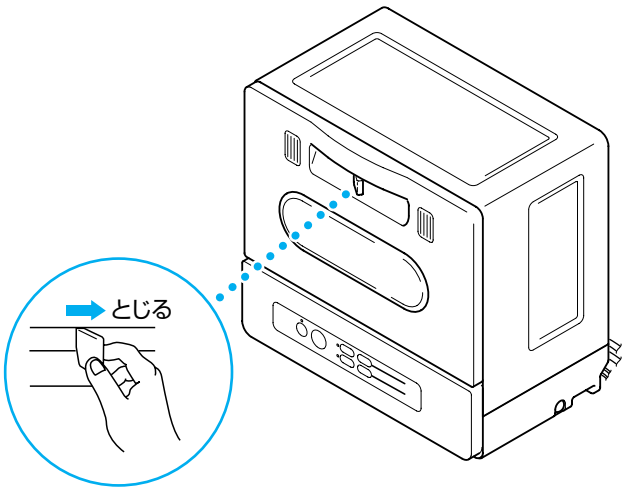
食器洗い乾燥機専用洗剤以外は使用しないでください。

一般の台所用洗剤では、異常に泡が発生して正しく運転できません。
また、故障の原因になります。

2 ドアを静かに閉める。

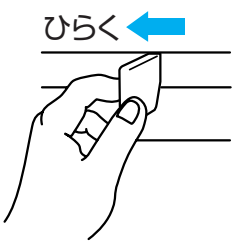
ドアを静かに閉め、開閉レバーを「とじる」の位置にしてしっかりロックします。

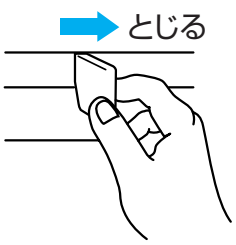
ドアが確実に閉まっていない状態で「スタート/一時停止」スイッチを押すと「ピピピ」という警報音がなります。
開閉レバーが確実に閉まっているか確認してください。



【ドアの開閉方法について】

ドアを開けるとき	ドアを閉めるとき
ドアの開閉レバーを「ひらく」の位置にあわせて、取っ手を手前に引いてください。	ドアを閉めて、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせてください。





3 電源 入/切 で電源を入れる。

■ 電源ランプが点灯します。
■ 前回選んだ洗浄コース、乾燥コースのランプが点灯します。

●前回と同じコースで運転する場合は、スタート 一時停止 で運転を始める。 ☞ P.18

4 洗浄選択 で洗浄コースを選ぶ。

■ 押すごとに洗浄コースが変わります。
「8分」→「洗剤なし」→「標準」

必要に応じて 高温念入り を押す。

■ 「高温念入り」ランプが点灯します。
■ もう一度押すと切れます。

【高温念入り】選択時は、
■ 乾燥時の湯気が多くなります。
■ くり返し行うと、ガラス製食器がくもったり、プラスチック製食器が変形することがあります。
☞ P.7「洗い・乾燥してはいけないもの」
■ 排水時に流し（シンク）が“ボコッ”と音を出すことがありますが、異常ではありません。

乾燥のみの場合は 乾燥のみ を押す。

乾燥のみの場合 ☞ P.18「乾燥のみ運転時の排水について」

◎ 洗浄コースの決めかた

こんなとき		洗浄コース	汚れのめやす
軽い汚れの食器 予洗いした食器 を	短時間 で洗う	8分コース	軽　い 少ない
	洗剤なし で洗う	洗剤なしコース	
食後すぐに 食器を洗う		標準コース	ふつう
食後時間がたった 食器を洗う		高温念入りコース 標準 ＋ 高温念入り	がんこ 多　い
手洗いした食器を乾燥する 食器をあたためる		乾燥のみコース 乾燥のみ	な　し

運転する（つづき）

5 乾燥選択 で乾燥コースを選ぶ。

※洗浄コース別に、前回選んだ乾燥コースを記憶しています。
※「乾燥のみ」の場合、送風は選べません。

■ 押すごとに乾燥時間が変わります。

洗浄の場合
「温風15分」→「温風30分」→「温風60分」→「送風」
乾燥のみの場合

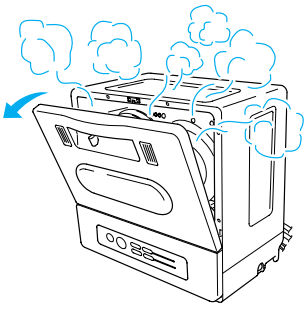
■ 送風のときは、温風15分、温風30分の両方のランプが点灯します。

◎乾燥時間のめやす

乾燥コース	こんなとき
【温風15分】	「乾燥のみ」で食器を温める。
【温風30分】	「標準」「洗剤なし」コースで洗浄後ふつうに乾燥する。
【温風60分】	「8分」コースで洗浄した食器や手洗いした食器を乾燥する。
【送風】（余熱乾燥）	電気代を節約して乾燥する。

◎余熱乾燥もできます

- 洗浄後の食器の余熱を利用して自然乾燥させる方法です。電気代がかからず経済的です。
- 「送風」を選択すると、洗浄終了後にブザーがなりますので、ドアを少し開けて電源を切り、そのまま放置してください。
  送風は停止します。



※8分コースの場合、食器の余熱が少ないためおすすめできません。

6 スタート 一時停止 で運転を始める。→ ブザーが鳴ったら運転終了です。

※運転開始直後や給湯後すぐに排水することがありますが、異常ではありません。
P.29「こんなときは故障ではありません」
※選んだコースにより、ブザーの鳴るタイミングが違います。P.19「運転終了の合図について」

◎乾燥のみ運転時の排水について

乾燥のみコースを通常お使いになる場合は、排水を行わない設定になっていますので、
手洗いした食器の乾燥を続けて繰り返し行うと、食器の水滴が洗浄槽内に少しづつ溜まります。
乾燥のみコースで手洗いした食器の乾燥を続けて繰り返し行なう場合は、
乾燥のみ運転開始時に、ときどき排水を行なってください。

■乾燥のみ運転開始時に排水を行なうには

電源 入/切 で電源を入れ 乾燥のみ を「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押しつづける。

→ 乾燥のみ運転開始時に排水（約45秒間）を行います。
（次回の乾燥のみ運転時は排水を行いません。）

運転を開始したあとで

●ドアを開けるとき

スタート/一時停止 「スタート/一時停止」スイッチを押し、運転が完全に停止したら、ドアをゆっくり開けます。
運転を再開するときは、ドアを閉めて「スタート/一時停止」スイッチをもう一度押してください。

●運転をやめるとき

電源入/切 「電源」スイッチを押します。

●洗浄コースを変えるとき

電源入/切 「電源」スイッチを押し、始めからやり直す。
※洗剤は再度入れてください。

●最終すすぎ温度を変えるとき

高温念入り 「高温念入り」スイッチを押します。
※最終すすぎ行程まで進んだ場合は、変えることができません。

●乾燥コースを変えるとき

乾燥選択 「乾燥選択」スイッチを押します。
※洗浄運転では乾燥行程開始後、乾燥のみでは運転開始後15分以上過ぎた場合は変更できません。

●停電またはブレーカーが作動したとき

P.30「凍結・断水・停電・ブレーカー作動の場合」

運転終了ブザーについて

◎運転終了ブザーの鳴るタイミング

洗浄コース	乾燥コース	洗浄終了後	乾燥終了後
標準 洗剤なし	温風15/30/60分	――――	ピーピーピー（自動的に電源が切れます）
	送風（90分）	ピーピーピー（以後、余熱乾燥ができます）	自動的に電源が切れます
8分	温風15/30/60分	ピーピーピー	ピーピーピー（自動的に電源が切れます）
	送風（90分）	ピーピーピー	自動的に電源が切れます

◎運転終了ブザーの入／切

運転終了後のブザーが耳障りな場合は、運転終了後のブザーが鳴らないように設定することができます。
（スイッチ操作音、異常または故障時のブザーは鳴ります。）

■運転終了後のブザーが鳴らないように設定するには

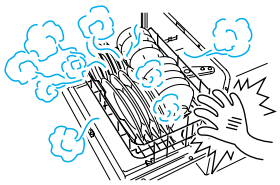
電源スイッチを切り 乾燥選択 を「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押しつづける。

（運転終了後のブザーが鳴るように設定するには、もう一度乾燥選択を「ピピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けるか、一度電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上経過後に再び差込んでください。
停電したりブレーカーが作動した場合も、運転終了後のブザーが鳴るように設定されます。）

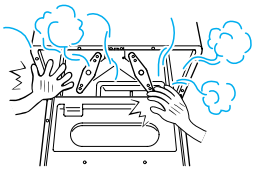
後かたづけ

⚠警告

食器の取出し、残菜フィルターの掃除・お手入れは、運転終了後30分以上経過してから行ってください。



やけどをするおそれがあります。

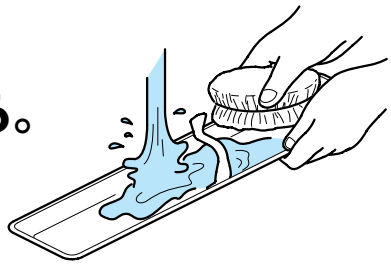


1 食器を取出す。

食器を入れたときと逆の順序で取出してください。
何枚か同時に取出すと、食器どうしがあたって破損するおそれがあります。

※ かごを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。
勢いよく引き出すと食器が落下することがあります。

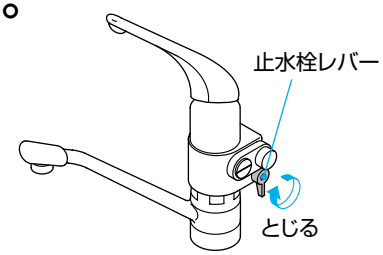
2 残菜を捨て残菜フィルターを水洗いする。



※本体内部に固形物がある場合は、取り除いてください。
※残菜を残したままにしておくと、臭いが発生することがあります。
※残菜フィルターは、定期的にタワシなどを使って洗ってください。

3 残菜フィルターを元どおりにセットする。

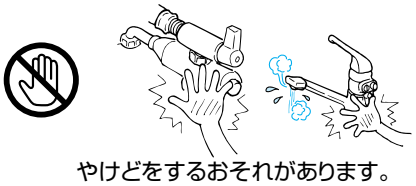
4 分岐金具の止水栓レバーを閉じる。



安全のため、ご使用後は必ず止水栓レバーを
閉じてください。

⚠注意

お湯を使用中、又は使用後すぐに分岐金具本体に触れないでください。



やけどをするおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、分岐金具の止水栓レバーを閉じてください。

電源プラグを抜く

万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。

運転終了後は、給湯機の温度設定を
ふだんお使いの温度に設定しなおしてください。

運転時間とコスト

運転時間とコストは、ある条件のもとで運転した場合（下記参照）の目安です。
運転条件によって、運転時間とコストは変わります。

◎給湯接続のとき（給湯温度60℃）

■：温水ヒーターON　■：温水ヒーターOFF

洗浄コース	洗い		すすぎ			最終すすぎ	洗浄時間	コスト
	低温洗い	高温洗い	すすぎ1	すすぎ2	すすぎ3			
8　分	約4分30秒	–	約1分30秒	–	–	約2分	約8分	約16円
洗剤なし	約9分30秒	約5分30秒	約1分30秒	–	–	約6分30秒	約23分	約17円
標　準	–	約13分	約1分30秒	約1分30秒	–	約7分	約23分	約25円
8分+高温念入り	約4分30秒	–	約1分30秒	–	–	約18分	約24分	約22円
洗剤なし+高温念入り	約9分30秒	約5分30秒	約1分30秒	–	–	約17分	約34分	約21円
標準+高温念入り	–	約21分	約2分	約2分	約2分	約17分	約44分	約32円

◎給水接続のとき（給水温度20℃）

■：温水ヒーターON　■：温水ヒーターOFF

洗浄コース	洗い		すすぎ			最終すすぎ	洗浄時間	コスト
	低温洗い	高温洗い	すすぎ1	すすぎ2	すすぎ3			
8　分	洗浄槽内の温水ヒーター加熱を行わないため、洗浄時間は給湯接続の場合と同じです。 給水接続の場合、汚れ落ちが悪くなりますので、食器の予洗いとしてお使いください。						約8分	約9円
洗剤なし	約12分	約17分	約1分30秒	–	–	約23分30秒	約54分	約21円
標　準	–	約21分	約1分30秒	約1分30秒	–	約24分	約48分	約24円
8分+高温念入り	約4分30秒	–	約1分30秒	–	–	約38分	約44分	約22円
洗剤なし+高温念入り	約12分	約17分	約1分30秒	–	–	約34分30秒	約65分	約25円
標準+高温念入り	–	約23分	約2分	約2分	約2分	約37分	約66分	約31円

◎乾燥時間とコスト

乾燥コース	乾燥時間	コスト
温風15分	約15分	約1.8円
温風30分	約30分	約3.6円
温風60分	約60分	約5.3円
送　風	約90分	約0.5円
余熱乾燥	–	約0.0円

※洗浄時間は、給湯（給水）圧0.2MPa、室温20℃、水温20℃の場合の所要時間です。
水圧、室温、水温によって変わります。
給湯(給水)および排水の時間を含んでいます。
配管滞留水の排水時間は含みません。

※洗浄コストおよび乾燥コストは、電気代22円/kWh、水道代228円/m^3（下水道使用料含む）、ガス代165円/m^3、洗剤代1.29円/g（1箱800g入:1,029円を使用）で算出したものです。
（コストおよび表示価格は税込みになります。）

※給水接続の場合、洗浄時間が長くなります。
（ただし、8分コースでは洗浄槽内の温水ヒータ加熱を行わないため、洗浄時間は変わりません。）

■給水接続でお使いになる場合は、配管滞留水の排水をなくすように設定してください。

☞ P.29「配管滞留水の排水をなくすには」

お手入れ －月に１度はお手入れを－

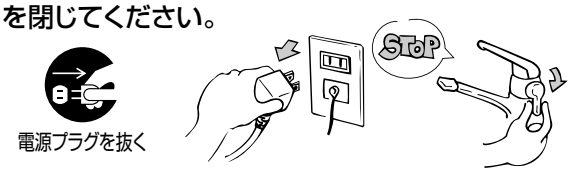
⚠警告

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電やケガをするおそれがあります。

⚠注意

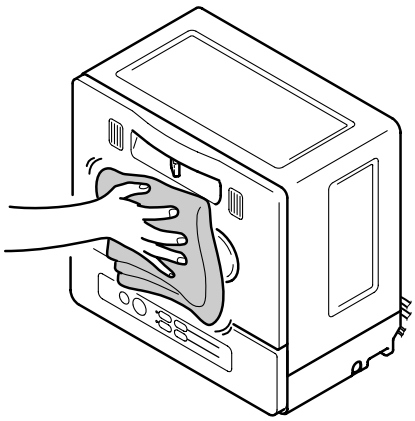
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、分岐金具の止水栓レバーを閉じてください。



万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。

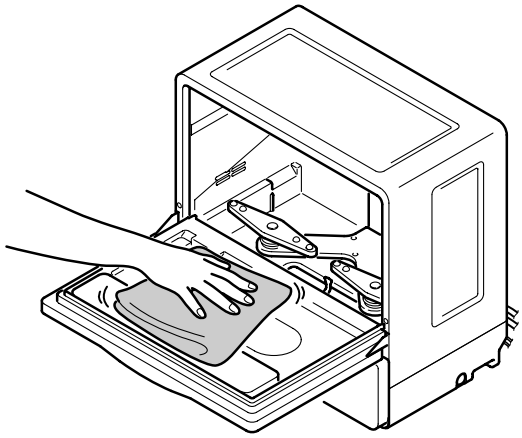
※ 長期間ご使用にならないときは、食器を入れずに空運転（標準+温風15分）を行って保管してください。
また長期保管したあと、運転を行う前には、いったん食器を入れずに空運転を行ってからご使用になることをおすすめします。

◎本体表面のお手入れ



■ ぬらした布をよく絞って拭いてください。
■ ベンジン、シンナー、クレンザー、アルコール、ワックス、換気扇・レンジ用洗剤や金属タワシなど、本体表面の変色、キズの原因になるものは使用しないでください。
■ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

◎洗浄槽内やドアの内面のお手入れ



■ ぬらした布をよく絞って拭いてください。
■ ときどき食器を入れずに空運転を行うと、清潔さを保つことができます。
※ 洗浄槽内やドアの内面のお手入れには、台所用洗剤は使用しないでください。（洗剤が残ると泡の異常発生の原因になります。）

「洗剤なしコース」を連続でお使いになる場合、専用洗剤を入れたときと比べて、洗浄槽内に水中のミネラル分などが残りやすくなります。
こまめに洗浄槽内のお手入れを行なってください。

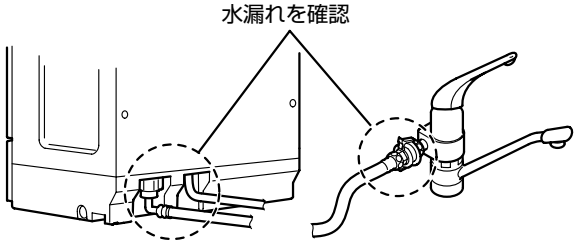
◎ノズルのお手入れ

■ ノズルの穴に異物がつまった場合は、つまようじなど先のとがった物で異物をきれいに取り除いてください。
■ お手入れ後はノズルを手で回して、軽く回ることを確認してください。
※ ノズルは外さないでください。

⚠注意

定期的に、給湯ホースや排水ホースの接続部、分岐金具の周りを見て水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・磨耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。



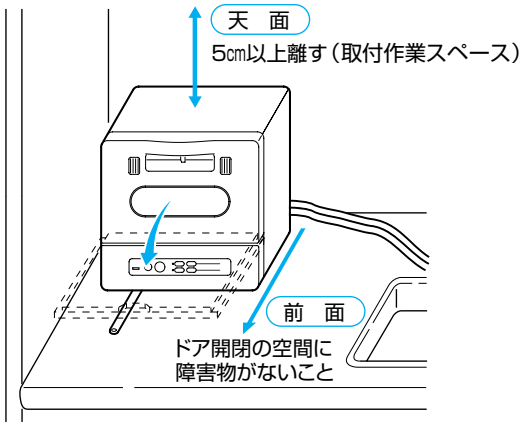
本体の設置

◎ 設置場所について

⚠ 注意

しっかりとした平らな面に正しい方法で設置してください。

傾いた場所では、正しく動作しないことがあります。

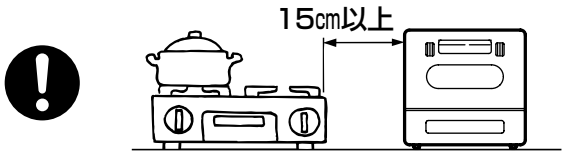


■ 給排水への接続や使い勝手を考慮すると、流し台の近くでお使いいただくのが便利です。
■ 凍結のおそれのある場所（0℃以下）や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。

※ 本体の金属部分が、家屋の金属板、流し台のステンレス天板などと、電気的に接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準182条により義務づけられています。）

⚠ 警告

本機の設置場所はガスコンロなど熱源から15cm以上離してください。



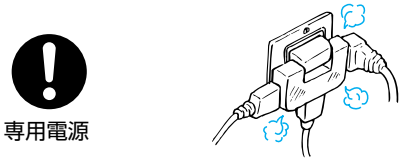
火災や変形のおそれがあります。

◎電源の確認

■ 交流100V、15A以上のコンセントを専用でご使用ください。
■ 電気工事は専門業者に依頼し、電気設備基準に準じて行ってください。
■ コンセントに電源プラグを差込んだとき、グラグラしていると、電源プラグが過熱して危険です。
このようなときは使用を中止し、電気工事店にご相談ください。
■ 電源コードを無理に引張ったり、たばねたり、また重い物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。

⚠ 警告

使用するコンセントは定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使用してください。
（※タコ足配線は絶対にしないでください。）



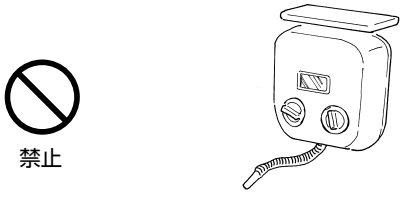
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

◎給湯機の確認

■ 10号以上の先止め式給湯機や深夜電力利用温水器に接続してください。
■ 温度設定ができない高温給湯タイプの給湯機（70℃以上）をご使用の場合には「高温給湯対応分岐金具」を取付けるか、給水接続でご使用ください。
■ 水道水圧は0.05～0.74MPaの範囲で使用してください。

⚠ 注意

元止め式湯沸器には接続しないでください。



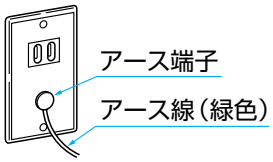
本体に給湯されなかったり、湯沸器から水漏れするおそれがあります。

本体の設置（つづき）

◎アース線の接続

万一の感電事故を防ぐため、必ずアース線を正しく取付けてください。

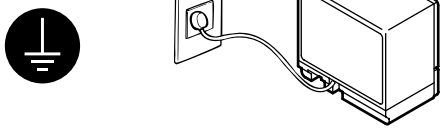
コンセントにアース端子がある場合



■ アース工事は電気工事士の有資格者がD種接地工事（有料）をするよう法令で定められています。
■ 設置場所を変更された場合やご転居の際には、再度アースの取付けをしてください。
■ ご不明な点は、電気工事店にご相談ください。
■ アース線は本体から出ている緑色の電線です。
■ 次の場所にはアース線を絶対に接続しないでください。
●ガス管　●水道管　●避雷針のアース　●電話線
■ 万一の感電防止のため漏電ブレーカー（定格電流15A・感度電流30mA）の取付けをおすすめします。

⚠警告

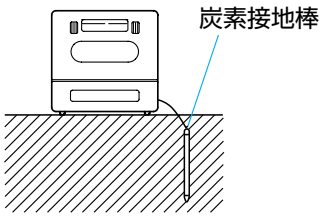
- アースを確実に取付けてください。
- アース工事は必ず電気工事店に依頼してください。（有料）



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

コンセントにアース端子がない場合

■ 炭素接地棒によるアース工事をしてください。
（オプション：EUDP006）



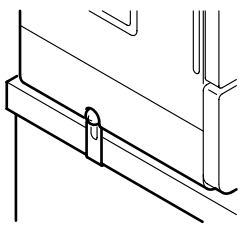
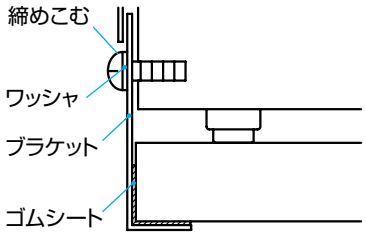
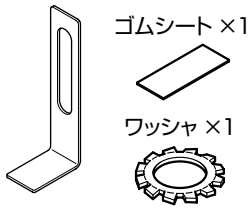
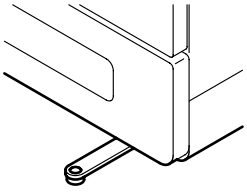
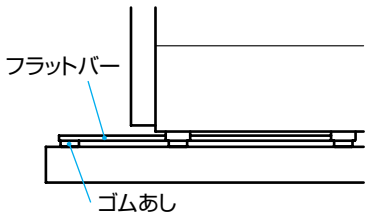
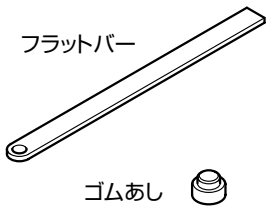
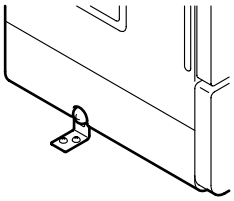
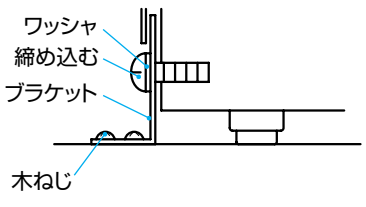
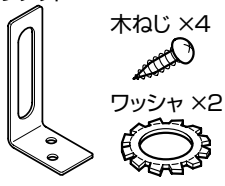
◎転倒防止金具について

設置方法にあわせて使用する部品をお選びください。
使用しなかった部品は、お引っ越しなどのときに必要になることがありますので、大切に保管しておいてください。

※詳しい設置方法は施工説明書をお読みください。

⚠注意

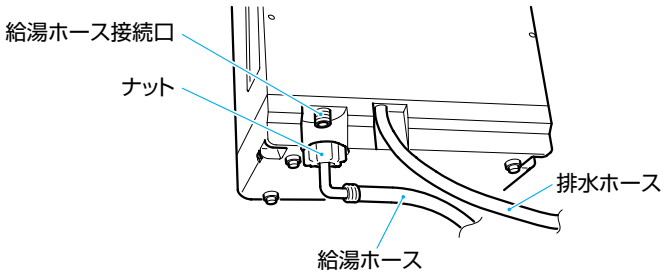
転倒防止金具はしっかりとした平らな面に正しい方法で取付けてください。

	設置例	金具の取付けかた	使用する部品	備　考
横置き				ブラケットを取付ける側の取付ねじをいったんはずし、ブラケット取付け後、再度締めこんでください。
正面置き				設置する場所に応じて左右どちらか一方にフラットバーをセットしてください。 本体のあしとゴムあしがすべて取付面に接するように設置してください。
床面固定（オプション品）			 ※（1個は付属品を使用）	ブラケットを取付ける側の取付ねじをいったんはずし、ブラケット取付け後、床面に固定し、再度締めこんでください。 オプション品のため別途、購入してください。

※床面固定のときは、オプション品（☞P.31）の床面固定金具（品番：EUDP212）が必要となります。

◎ 本体と給湯ホース・排水ホースの接続

●給湯ホースの取出方向を決め、その状態を維持したまま確実にナットを締めつけてください。



⚠ 注意

排水ホース接続口の向きを変えるときは、本体から抜けないように注意してください。

水漏れの原因になります。

⚠ 注意

ナットはしっかり締めつけてください。

水漏れの原因になります。

⚠ 注意

ナット締めつけ後に、給湯ホースの方向を変えないでください。

ナットが緩み水漏れの原因になります。

◎分岐金具と給湯ホースの接続

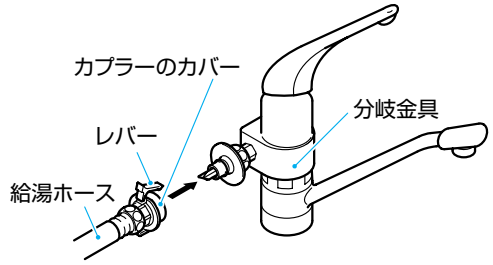
■分岐金具の確認

お使いになられている給湯機と水栓のタイプにより用いる分岐金具が異なります。

■分岐金具と給湯ホースの接続

●カプラーのカバーとレバーを押し下げたまま、分岐金具に「パチン」と音がするまで差込んでください。

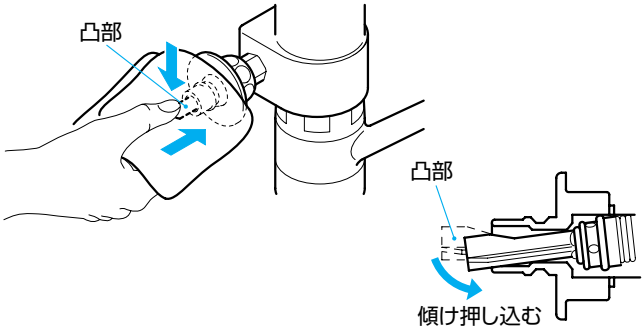
●引いて抜けないことを確認した後、止水栓レバーを開いて水漏れのないことを確認してください。



※使用中に給湯ホースが外れた後のホースの取付け方

止水栓レバーを閉じて、分岐金具の凸部をタオルで押えながら傾けて押し込み、水を抜いてから給湯ホースを差込みます。

（熱湯が出ることがありますので注意してください。）

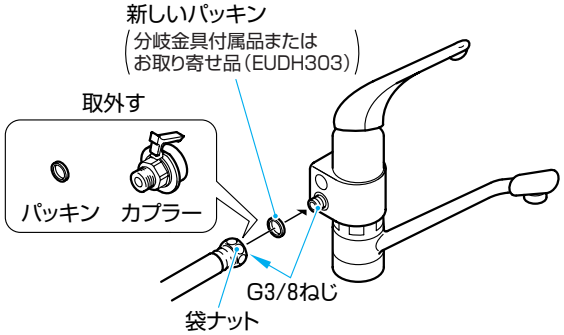


■ねじ式（G3/8）の分岐金具（旧タイプ）に接続する場合

●給湯ホース先端の袋ナットをゆるめ、カプラーとパッキンを取外します。

●袋ナットの内側に分岐金具に付属のパッキン（又はフィルター付パッキン）を取付け、しっかり締めつけてください。
分岐金具に付属のパッキンが変形したり破損している場合は、新品をお取り寄せください。（品番：EUDH303）

●締めつけ後、止水栓レバーを開いて水漏れのないことを確認してください。

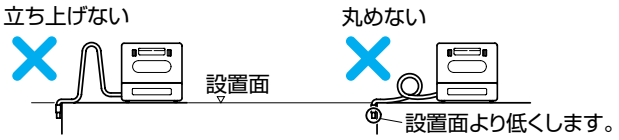


注）袋ナットを斜めにねじ込まないように注意してください。

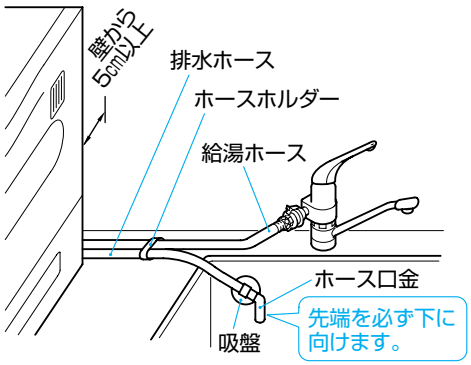
本体の設置（つづき）

◎給湯ホース・排水ホースのセット

- ねじれや折れ曲がりがないように設置してください。
  （給湯・排水不良の原因になります。）
- 排水ホースは現場に合わせて切断してください。
- 排水ホースは途中で立ち上げないでください。またホースの先端は必ず設置面より低くしてください。
  （排水不良の原因になります。）



【設置例】



⚠注意

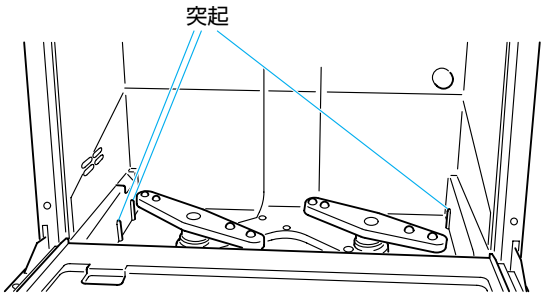
排水ホースは無理に引張らないでください。
水漏れの原因になります。

⚠注意

給湯ホースは切らないでください。
水漏れの原因になります。

◎水平の確認

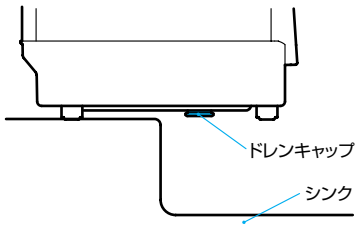
- 試運転を行い、洗浄行程が始まったら電源を切り、ドアを開いてください。
- 洗浄槽下部の「突起」の高さと水面が3ヵ所でほぼ一致することを確認してください。
  （洗浄槽内の水は次回の運転時に、自動的に排水します。）



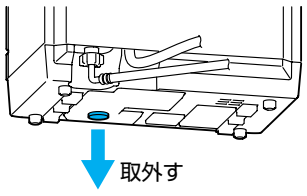
水抜きについて

お引越しなどで本体を移動するときや、寒冷地の別荘などで冬季ご使用にならないときは、本体の水抜きが必要です。

- 転倒防止金具を取り外してください。
- 本体裏面の水抜き栓がシンク（流し台）の上にくるまで、本体を移動してください。
- 本体裏面の水抜き栓を取り外して水を抜いてください。
- 水の出が悪くなったら、本体を前後左右に軽く傾けて残水を抜いてください。
- 本体裏面の水抜き穴に水抜き栓を根元までしっかりと入れてください。
- 分岐金具から給湯ホースを取外して給湯ホース内の水を抜いてください。
  また、急な寒さなどで凍結のおそれがある場合は、水栓金具の水抜きも必要となります。



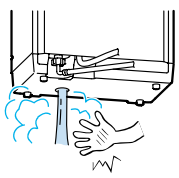
■ご自分で水抜きができない場合は、東陶メンテナンス㈱にご相談ください。
巻末参照



⚠注意

運転終了後30分間は絶対に水抜きをしないでください。

禁止


やけどをするおそれがあります。

⚠注意

水抜き栓は根元までしっかり入れてください。
水漏れの原因になります。

仕上がりが悪いと思われる場合

状　況	原　因	処　置
洗い上がりが悪い 洗えていないものがある	● 食器を重ねて入れたり、セットの方向を間違えている。 ● 食器がかごの底からはみ出してノズルの回転を止めている。 ● 回転棚におわんなどをふせて置いていませんか? ● かごの一番手前の仕切りに、皿を入れている。	● 食器を正しくセットする。 P.11参照
	● 残菜フィルターに残菜などが詰まっている。	● 残菜フィルターを水洗いする。 P.20参照
食器が黄色く、 または薄黒くなってくる	● 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。	● ときどき食器をこすって手洗いする。
ガラス食器類が白く くもる	● 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、白くくもることがあります。	
ガラス食器類に薄い 水滴の跡が残る	● 水の温度が上がると、水に含まれているミネラル分が食器等に残り易くなります。 食器洗い乾燥機では高温のお湯で食器を洗うため、ミネラル分が水滴の跡のように残ったり、食器の表面が白くくもったようになることがあります。ガラス食器のような透明な食器の場合、他の食器と比較してミネラル分の付着が目立ちます。 洗剤の残りなどの異常ではありません。	●「最終すすぎ」開始後30秒以内に乾燥仕上げ剤を入れる。 P.29参照
糸底部に残水がある	● 食器のセットのしかたや形状によっては、運転終了後に食器の糸底部に水が若干残ることがあります。 異常ではありません。 	● ふきんなどで残水をふき取る。
洗浄槽内に水滴が残る	● 洗浄槽内の結露現象と、すすぎ時に付着した水滴です。異常ではありません。	● しばらくお使いになる間に水滴は少なくなります。
食器に水滴が残る	● 乾燥時間が短い。	● 乾燥時間を長くする。 P.18参照
	● かごを引き出すときに、洗浄槽内の水滴が食器にたれている。	● かごを静かに引き出す。

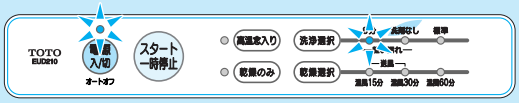
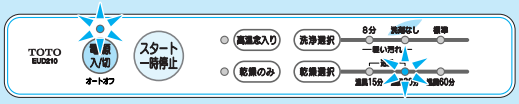
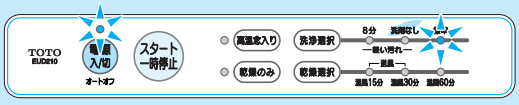
運転しないとき

状　況	原　因	処　置
運転しない	● 停電している。	● P.30「停電」参照
	● ブレーカーが作動している。	● P.30「ブレーカー作動」参照
	● コンセントから電源プラグが外れている。	● 電源プラグをコンセントに差し込む。
	● ドアが開いている。 (「ピピピ」という警報音が鳴ります。)	● ドアを確実に閉め、開閉レバーを「とじる」の位置にする。
	● 「一時停止」の状態になっている。	● スタート/一時停止スイッチを押す。

■上記の処置を行っても直らない場合、分岐金具の止水栓レバーを閉じて、電源プラグを抜き、お求めの販売店もしくは東陶メンテナンス㈱へご連絡ください。 巻末参照

異常報知について

警報音（ピー）が10秒間鳴ります。

状　況	原　因	処　置
「電源」＋「8分コース」点滅 	●排水不良 排水ホースの折れや異物のつまりによって、洗浄槽内の水を全く排水できないことを示しています。	以下のことを確認してください。 ● 残菜フィルターが目詰まりしていないか　P.20参照 ● 残菜フィルターを入れ忘れていないか ● 排水ホースが折れ曲がっていないか ● 外装板に磁石を張り付けていないか　P.7参照
「電源」＋「送風15分」点滅 	●給水不良 断水、水道の凍結、水道元栓又は分岐金具の止水栓の開け忘れなどで給水できないことを示しています。	以下のことを確認してください。 ● 断水していないか ● 水道、給湯ホースが凍結していないか ● 分岐金具の止水栓レバーが開いているか ● 分岐金具のフィルター付パッキンが目詰まりしていないか P.25参照
「電源」＋「温風30分」点滅 	●高温給湯 給湯機の温度設定が高すぎる場合や高温給湯対応分岐金具の故障により、給湯温度が高すぎることを示しています。	● 給湯機の温度設定を60℃に設定してください。
「電源」＋「洗剤なし」点滅 	●その他の異常 極端な低温下にあるか温度検知機能の故障であることを示しています。	● 本体周囲の温度が0℃以上の場所でご使用ください。
「電源」＋「標準」点滅 		

※上記の処置を行ったあと、一度電源を切り運転をやり直してください。再び異常報知を行う場合、又は上記以外の異常報知を行う場合は、分岐金具の止水栓レバーを閉じて、電源プラグを抜き、お求めの販売店もしくは東陶メンテナンス㈱へご連絡ください。　巻末参照　（どのランプが点滅したか確認のうえ、ご連絡ください。）

※上記以外の異常報知：「高温念入り」＋「その他のランプ」点滅

こんなときは故障ではありません

状　況	原　因
運転が始まるとすぐに排水をはじめる。	● 洗浄槽内に残った水を排水するためです。異常ではありません。 以下の場合に行われます。 ・「乾燥のみ」運転開始時に排水するように設定したとき P.18参照 ・異常検出や電源「切」による中断後、再び運転するとき ・電源プラグを抜き差しした後、再び運転するとき
洗浄がはじまると給湯後すぐに排水する	● 給湯されたお湯の温度が低い場合、お湯を排水します。 下記「配管滞留水の排水について」参照
洗浄中にときどき運転が止まる（約2秒間）	● 効率よく食器を洗浄するためです。故障ではありません。
洗浄時間が長い	● 給湯温度が低くありませんか？　給湯温度を60℃に設定してください。 ● 配管滞留水の排水をなくしている。 ● 給水接続にしている。 下記「配管滞留水の排水について」参照
乾燥時間を変更できない	● 洗浄からの運転で乾燥行程がはじまっている。 ● 乾燥のみコースで15分以上運転している。 P.19参照

◎配管滞留水（はいかんたいりゅうすい）の排水について

配管滞留水とは、長時間お湯を使わなかったために冷えた配管内に溜まっている水のことです。
最初から最適な温度で洗浄を行うため、給湯されたお湯が35℃以下の場合、お湯を排水するように設定しています。
（ただし、運転開始から2分以上経過しても洗浄槽内の水温が35℃をこえない場合は洗浄を始めます。）

●給水接続でお使いになる場合は、配管滞留水の排水をなくすように設定してください。

■配管滞留水の排水をなくすには

電源スイッチを切り、スタート/一時停止スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けてください。

（配管滞留水の排水をするように設定するには、もう一度スタート/一時停止スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けるか、一度電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上経過後に再び差込んでください。
（停電したりブレーカーが作動した場合も配管滞留水の排水をするように設定されます。））

◎乾燥仕上げ剤のご使用について

ガラス食器などに薄い水滴の跡が残る場合は、市販の食器洗い乾燥機専用乾燥仕上げ剤のご使用をおすすめします。
「最終すすぎ」開始後30秒以内に、乾燥仕上げ剤を洗剤投入口へ入れてください。
乾燥仕上げ剤を入れる時期を「ピッピッピッ…」という音（約30秒）でお知らせするように設定することもできます。
※乾燥仕上げ剤を入れる際は、「運転を開始したあとでドアを開けるとき」の手順にしたがってください。 P.19参照

■乾燥仕上げ剤を入れる時期を知らせるようにするには

電源スイッチを切り、高温念入りスイッチを「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けてください。

（乾燥仕上げ剤を入れる時期を知らせないように設定するには、もう一度高温念入りスイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けるか、一度電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上経過後に再び差込んでください。
（停電したりブレーカーが作動した場合も乾燥仕上げ剤を入れる時期を知らせないように設定されます。））

食器洗い乾燥機専用
乾燥仕上げ剤

ティーポール㈱製
リンセード（RA-10）

問合せ先：ティーポール㈱
03−5352−7871（代表）

凍結・断水・停電・ブレーカー作動の場合

状　況	処　置
凍　　結	1 電源を切りドアを開けて洗浄槽に70℃程度の温水を約3L入れ、解凍するまで放置してください。 2 解凍後電源を入れ標準コースで運転ができることを確認してください。
断　　水	1 使用中に断水した場合は、電源を切り運転を中止してください。 2 断水が回復したら、まず蛇口からにごった水を流し、はじめから操作をやり直してください。（洗剤は再度入れてください。）
停　　電 ブレーカー作動	■洗浄中に停電またはブレーカーが作動した場合 1 電力が回復したら、はじめから操作をやり直してください。（洗剤は再度入れてください。） 2 電源を入れ「スタート/一時停止」スイッチを押すとすぐに排水が開始します。 ■乾燥中に停電またはブレーカーが作動した場合 電力が回復したら、「乾燥のみ」で運転してください。

アフターサービスについて

保証について

本製品は、設置日から1ヵ年保証です。
本製品に保証書を同梱しています。必ず「お買上げの販売店名又はお取付け工事店・設置日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間中に修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認ください。なお、異常のあるときには、お買上げの販売店・お取付け工事店又は東陶メンテナンス㈱フリーダイヤル0120-1010-05に修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。

〈連絡していただきたいこと〉

■ご住所・お名前・電話番号　■製品名・品番・設置日（保証書をご覧ください）
■故障内容・異常状況　■訪問ご希望日

保証期間経過後、修理を依頼されるとき

当社お客様相談室又は東陶メンテナンス㈱にまずご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

お願い

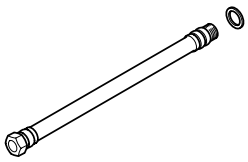
■取付け、取外しのときは東陶メンテナンス㈱にご相談ください。　☞巻末参照
■水栓の形状により、接続可能な分岐金具が異なります。
■電源周波数の異なる地域へ引越しされても、50Hz/60Hz共用ですので部品の取替えは不要です。

仕様

電圧電源	交流100V	すすぎ方式	ためすすぎ方式
周波数	50/60Hz共用	乾燥方式	①送風乾燥（余熱乾燥）　②温風乾燥
最大消費電力	960W（50Hz）／990W（60Hz）	標準食器	4人用　26点収納
外形寸法	幅500㎜ × 奥行き300㎜ × 高さ490㎜	収納容量	大　皿……4点　は　し 中　皿……4点　スプーン 小　皿……6点　フォーク 茶わん……4点 吸物わん……4点 湯のみ・コップ……4点
製品質量	約14kg		
使用水量	約17L（標準コース）		
水道水圧	0.05～0.74MPa		
洗浄方式	回転ノズル噴射式 ＋ 固定ノズル噴射式		

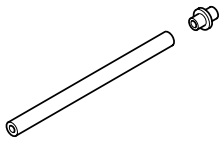
オプション －お求めの販売店にて取扱っています－

延長用給湯ホース（50㎝）
（¥1,300）　EUDP002R



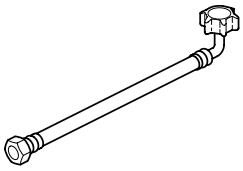
※本体付属の給湯ホースに接続して延長します。

延長用排水ホース（130㎝）
（¥1,150）　EUDP015



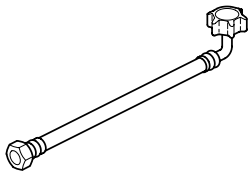
※延長後、長い場合は切ってお使いください。
延長ホースは2本以上つながないでください。

短尺用給湯ホース①（105㎝）
（¥1,500）　EUDP020R



※本体付属の給湯ホースより、25㎝短くなります。

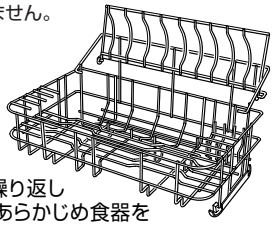
短尺用給湯ホース②（80㎝）
（¥1,400）　EUDP021R



※本体付属の給湯ホースより、50㎝短くなります。

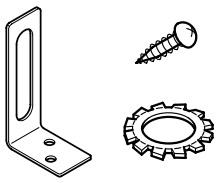
EUD210用 かご
（¥5,950）　EUDP218

小物入れは付属しません。

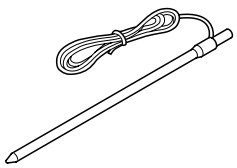


※多くの食器を繰り返し
洗う場合等に、あらかじめ食器を
セットして、かごの入れ替えができ便利です。

床面固定用金具
（¥1,000）　EUDP212

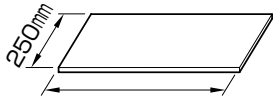


炭素接地棒
（¥1,000）　EUDP006



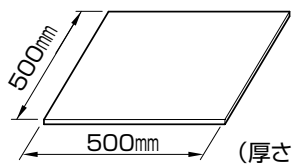
ステンレス置台　横置き用
（¥4,000）　EUDP004R

長尺ステンレス置台　横置き用
（¥4,500）　EUDP205



500㎜（EUDP004R）
600㎜（EUDP205）
（厚さ10㎜）

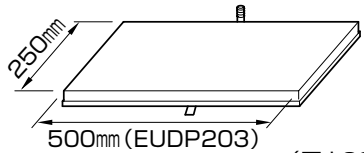
ステンレス置台　正面置き用
（¥7,000）　EUDP016R



500㎜
500㎜
（厚さ10㎜）

排水すっきり置台　横置き用
（¥6,000）　EUDP203

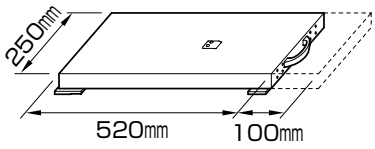
長尺排水すっきり置台　横置き用
（¥6,500）　EUDP204



500㎜（EUDP203）
600㎜（EUDP204）
（厚さ30㎜）

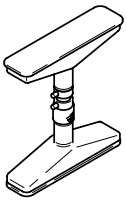
※シンクにかかるように設置するため本体背面に
空間ができることがあります。

スライド置台　横置き用
（¥14,000）　EUDP207



（厚さ46㎜）

固定用突っ張り棒
（¥3,500）　EUDP209R



（高さ25～35㎝可変）

※オプションは予告なしに変更となることがありますので、お求めの際は販売店にご確認ください。
※価格はすべて希望小売価格です。

TOTO

東陶機器株式会社

● 修理をご依頼される前にP27～P30の内容をご確認ください。

修理・取扱いのご相談は

まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒 印
販売店	電話　　ー

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品のお問い合せは

TOTOお客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

補修用部品のご購入は

お近くのDIY・ホームセンター、お求め取付工事店
又はTOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

修理のご依頼は

TOTOメンテナンスへ
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受付（年中無休）
受付時間：関東・甲信越地区　8:00-20:00
上記以外の地区　9:00-20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間：　9:00-18:00

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

2006.03
F06185